

## 議会評価意見書⑧

事業名	4-2-9 都市計画マスタープラン策定事業	
議会評価	1	拡充する
<p><b>【評価説明】</b></p> <p>都市計画マスタープランは、街の未来像をつくる重要な計画であり、中長期的な観点から慎重に議論を進める必要がある。現在は、小松島市都市計画マスタープラン策定市民会議等において、計画策定に向けて議論され、25年度中の策定完了を目指している。マスタープランの中身が市民にとって「住んでみたい、住み続けたい」と思える魅力的なプランになるには、街の未来像を漠然と抽象的に描くのではなく、具体的で夢の持てる実現可能なプランを策定し、市民に示すことが重要である。</p> <p>また、これまでの人口増加に伴う市街化の促進を基本としたまちづくりではなく、人口減少に対応した市街地集約型のまちづくりへと移行し、都市の整備と自然環境保全のバランスや大規模災害も想定したまちづくり、広域交通ネットワークの連携と、歩いて暮らせるコンパクトなコミュニティの構築など、明確な概念と調和のとれたまちづくりを目指すべきである。</p>		